

No	書名	副書名	著者名	出版者	出版年	内容紹介
1	あいしているから		マージョリー・ニューマン／ぶん	評論社	2003. 10	もぐらのモールくんは、巣から落ちたことを見つけて、家につれてかえる。いっしょうけんめい世話をして、かわいがった。でも、野生のことは、ペットにはなれないのだ。やがて、ことは…。
2	あしたは月よう日		長谷川 集平／〔作〕	文研出版	1997. 11	日よう日や。ええ天気なのにおとうちゃんは、テレビばかり見とう。はなくそ、とぼしよう。たばこのけむりはきだす。ぼくたちがもんく言ったら、おとうちゃんとつぜん泣きだしたんやけど…。神戸のある日よう日を描く。
3	あたしもびょうきになりたいな！		フランツ＝ブランデンベルク／さく	偕成社	1983. 7	
4	あらしのよるに		木村 裕一／作	講談社	1994. 10	荒れ狂った嵐の夜、壊れかけた小屋で、嵐を避けて飛び込んできたヤギとオオカミがハチ合わせ。小屋の中はまっ暗。おまけにお互いかぜをひいて鼻もきかない。2匹はおしゃべりをしていくうちに…。*
5	ありがとう、フォルカーせんせい		パトリシア・ポラッコ／作・絵	岩崎書店	2001. 12	トリシャにとって、字は、くねくねした形に見えるだけ。友達に読めないことを笑われて、トリシャの苦しみは増すばかり。でも、新しい先生がやってきて、字が読めないトリシャに特別な練習を始めたのです。作者の自伝的なお話。
6	アルフィとくらやみ		エロール・ル・カイン／え	評論社	2004. 12	明かりをつけると、暗闇はどこへ行っちゃうんだろう？ アルフィは不思議でたまりません。ある夜のこと、アルフィは暗闇に話しかけてみました。すると、なんと、暗闇くんがこたえてくれたではありませんか…。
7	アンジュール	ある犬の物語	ガブリエル・バンサン／作	ブックローン出版	1986. 5	
8	生きとし生けるもの		M. B. ゴフスタイン／作	ジー・シー	1990. 5	
9	生きる	わたしたちの思い	谷川俊太郎with friends／著	角川SSコミュニケーションズ	2009. 4	谷川俊太郎の詩「生きる」にちなんで、それぞれの「生きる」をつなげてひとつの詩をつくる。『mixi』の谷川俊太郎コミュニティの投稿から生まれた、“永遠に続く連詩”第2弾。投稿者によるコメントや写真も併せて掲載。
10	いつだってともだち		エリック・バトラー／絵	講談社	2000. 6	大好きだった友だちが引っ越してから、さびしくて元気のなかったピンクの子象ベノ。ある日、もの知りのフクロウ・ホレイカに、元気になるための3つの方法を聞き出して…。
11	いつでも会える		菊田 まりこ／著	学研	1998. 12	ぼくはイヌのシロ。ミキちゃんが好き。でもある日とつぜんミキちゃんがいなくなった。どこ？ どこ？ どこ？ かなしくて、かなしくて、目をつむると、そのとき…。シロがかなしみをのりこえるピュアな絵本。
12	いっぱいごめんいっぱいありがとう	認知症者の母とともに	岡上 多寿子／絵・文	木耳社	2006. 8	先の見えない不安や社会と断絶したような孤独感、叱責後の無気力と自責の念、空しさと情けなさ…。認知症の母を約10年間にわたって介護した著者が、去来する心情を絵と文章で表現した詩画集。
13	いつまでも		アンナ・ピンヤタロ／さく	主婦の友社	2007. 11	「お母さんはいつまでぼくのお母さんなの？」 こぐまのオリがたずねます。「いつまでもよ」とお母さんは答えます。でも、「いつまでも」がどんな感じなのかわからなくて…。親子でいることの幸せをかみしめられる幸福な絵本。

No	書名	副書名	著者名	出版者	出版年	内容紹介
14	いつもだれかが…		ユッタ・パウアー／作・ 絵	徳間書店	2002. 1 2	うれしいときもかなしいときも、いつもだれかがそばにいた。あぶないときにはたすけてくれた…。幸運だった一生をふりかえる祖父と、耳をかたむける孫と、ふたりを「見守る存在」とを描いた絵本。ドイツ児童図書賞最終候補作。
15	いぬはてんごくで…		シンシア・ライラント／ 作	偕成社	2000. 2	いぬは天国にすぎなだけいられる いつまでもいつまでもいられる どのいぬも、天国ではおこらう 天国のいぬは天使のいぬ一。いぬが天国にいった時の様子をおもしろくユーモアを込めて描いた絵本。
16	いのち		真砂 秀朗／絵	三起商行	1990	
17	いのち	昔からのいのち今ここにあるいのち明日うまれるいのち	永 六輔／文	理論社	2004. 1	昔むかし海の中でうまれたいのち。いのちは時をくぐりぬけ今ここにある私の命につながっている。同じいのちは一つもない。いのちは循環する…。いのちの不思議さを平易な言葉と蜜蝋が溶けて染みこんだ温かい抽象画で伝える。
18	いのちのまつり	ヌチヌグスージ	草場 一寿／作	サンマーク出版	2004. 1 0	「ヌチヌグスージ」とは、沖縄の方言で「いのちのお祝い、いのちのお祭り」という意味。悠久の時の流れの中、広大無辺な生命のつながり。いのちの大切なつながりを描いた絵本。一部のページが大きく広がる楽しいしかけ付き。
19	いのちのつながり		中村 運／ぶん	福音館書店	1991. 4	
20	いもうとのにゅういん		筒井 頼子／さく	福音館書店	1987. 2	
21	ヴァイオリニスト		ガブリエル・バンサン／ 作	BL出版	2001. 1	父親の期待を受け、コンクール入賞を目指し幾度となく挑戦する青年。結果を出せぬまま、やがて父親との確執の中で心を閉ざす。そんな時青年はひとりの少年と出会い、音楽の喜びを知る…。日本版オリジナル絵本。
22	うさこちゃんのだいすきなおばあちゃん		ディック・ブルーナ／ぶ ん・え	福音館書店	2008. 9	うさこちゃんは悲しくて、大粒の涙をこぼしていました。なぜなら、大好きなおばあちゃんが死んでしまったからです。誰もがうさこちゃんと同じように泣いています。そして、おばあちゃんのお別れのときがやってきて…。
23	うさこちゃんのにゅういん		ディック・ブルーナ／ぶ ん・え	福音館書店	1982. 5	
24	海のいのち		立松 和平／作	ポプラ社	1992. 1 2	
25	海をかえして！	あさり・しおまねき・ むつごろう	丘 修三／さく	童心社	1997. 8	諫早湾の干潟に住むムツゴロウとシオマネキとあさりちゃんの三匹は大の仲良しです。ところがある日、橋だと思っていたものが黒い壁にかわって、潮が満ちてこなくなりました。干潟の生き物たちの叫びを聞いて下さい。
26	うみをわたったこぶた		木崎 さと子／文	岩崎書店	2004. 4	ちょうちよの導きによって広い海を渡る孤独なこぶたが、やがて平和な世界にたどりつく。そこはのどかで、安らかな、まるでおかあさんのおなかの中のように幸せになれる場所…。

No	書名	副書名	著者名	出版者	出版年	内容紹介
27	エヴァはおねえちゃんのいない国で		ティエリー・ロブレヒト／文	くもん出版	2006. 6	エヴァとエリサはとても仲のよい姉妹で、いつも一緒です。でもある日、エリサは突然死んでしまいました。おねえちゃんのいない国で、エヴァは自分のかなしみを、じっと見つめつづけます。
28	エリカ奇跡のいのち		ルース・バンダー・ジー／文	講談社	2004. 7	お母さまは自分は「死」にむかいながら、わたしを「生」にむかってあげたのです…。戦争の陰に隠された、小さないのちの奇跡。第二次世界大戦中のドイツでの衝撃的な実話をもとに、戦争を考える絵本。
29	おじいさんのチェロ		ジェーン・カトラー／作	あかね書房	2001. 1	戦争にまきこまれた街にいるのは子供と女性、老人と病人たちだけ。こわい思いをしていると、いつも「オー」っておこるO（オー）じいさんがチェロを弾いてくれたの。生きてく勇気をもたらしてみたい。ところがある日、爆弾が…。
30	おおきいつりーちいさいつりー		ロバート・バリー／さく	大日本図書	2000. 10	もうすぐクリスマス。ウィロビーさんのお屋敷に届けられたのは、見たこともない大きなクリスマス・ツリーで、先っぽが天上につっかえてしまいました…。1977年刊のモノクロ絵本が、カラーのイラストとともに再登場。
31	おおきなかわのむこうへ		アルミン・ボイシャー／文	ひくまの出版	2005. 4	重い病気にかかったうさぎは、あらいぐまに別れを告げ、死の世界へ旅立つ決心をします。あらいぐまは悲しくて寂しくて、なんとかうさぎを引きとめようとしてますが…。死と向き合い、悲しみを克服する勇気を教える絵本。
32	おおきな木		シェル・シルヴァスタイン／さく・え	篠崎書林	1976	
33	おかあさんになるってどんなこと		内田 麟太郎／文	PHP研究所	2004. 5	うさぎの女の子と男の子が遊びながら「お母さんになるってどんなこと？」と考えます。まず、こどもの名前を呼ぶこと、子どもと手をつなぐこと、そして心配して抱きしめること…。
34	おじいさんの机		立松 和平／文	河出書房新社	1997. 3	都会に引越した少年におじいさんが秘密の机を贈ってくれた。引き出しを開けるとなつかしい風景がひろがっていて、少年はその中に入ることができたのです…。私たちの命が多くの小さな命で支えられていることを心に込めて描く。
35	おじいちゃん		ジョン・バーニンガム／さく	ほるぷ出版	1985. 8	
36	おじいちゃんがおばけになったわけ		キム・フォップス・オーカソン／文	あすなる書房	2005. 6	道で倒れて死んじゃったはずのおじいちゃんが、夜になって、エリックのところへやってきました。だけど、なんだかちよっとヘン…。心に沁みいるデンマークの絵本。
37	おじいちゃんのごらくごらく		西本 鶏介／作	鈴木出版	2006. 2	ゆうたは、いつもお風呂で「ごらくごらく」と言ってる大好きなおじいちゃんと温泉に行くはずでしたが、おじいちゃんは急に入院することに。そして…。死と別れに出あう子どもを描く絵本。
38	おじいちゃんのライカ		マッツ・ウォール／ぶん	評論社	2005. 11	ライカはおじいちゃんの犬だ。ぼくとライカは毎日いっしょにすごした。でもライカは年をとり弱ってきて、ある日おじいちゃんに…。マッシュウ少年が知った初めての悲しみ。美しいスウェーデンの絵本。
39	おじいちゃんわすれないよ		ベッテ・ウェステラ／作	金の星社	2002. 7	少年との約束を忘れないようにハンカチに結び目を作った祖父。そんな大好きな祖父を忘れないように少年もまた結び目を作る。大切な人の死に直面した少年の心情を透明感溢れる筆致で描くオランダの絵本。金のりんご賞受賞作。

No	書名	副書名	著者名	出版者	出版年	内容紹介
40	おとうさん		つちだ よしはる／さく	小峰書店	2003. 9	わたしは、おとうさんの自転車に乗って、おとうさんとでかけるのが大好きです！ お気に入りのハンカチを持って、今日もかけます。ところが、ある日、大切なハンカチを落としてしまって…。
41	おにいちゃんがいてよかった		細谷 亮太／作	岩崎書店	2003. 9	お兄ちゃんの大好きなケーキを買ってきて家族で祝う誕生日。もういないけど、私はケーキをお兄ちゃんの分も切る。きょうだいを亡くした子の気持ちを暖かく理解する絵本。
42	おにいちゃん、死んじゃった	イラクの子どもたちとせんそう	谷川 俊太郎／詩	教育画劇	2004. 2	わたしたちのかなしみを あなごらないでください イラク戦争後を生きる子どもたちが、戦争や平和について、思うことを表現した絵に、詩人・谷川俊太郎が戦争について、自らの言葉で語る。
43	おねえさんになるひ		ローレンス・アンホルト／文	徳間書店	1998. 6	赤ちゃんが来る日を楽しみにしていたソフィー。でも、いざ赤ちゃんがやって来ると、お父さんもお母さんもソフィーの相手をしてくれないし、赤ちゃんは泣いてばかり。ひとり庭に出て泣くソフィーをしっかりと抱きしめたのは…。
44	おばあちゃんが、ぼけた。		村瀬 孝生／著	理論社	2007. 2	老人通所施設「宅老所よりあい」の若き所長による、笑わずにはいられない、泣かずにはいられない仰天レポートの数々。「ぼけた」お年寄り達に日々振り回されることで見えてくる、人間の最大限の不思議とどうしようもない魅力。
45	おばあちゃん		大森 真貴乃／さく	ほるぷ出版	1987. 1 1	
46	おばあちゃんといつもいっしょ		池見 宏子／作	岩崎書店	1997. 9	おしゃれで自分のことは自分でしようがんばっていたおばあちゃんが倒れた。ベッドで眠り続けるおばあちゃんをまん中に、ヘルパーさんや看護婦さんに支えられてすごした、たあちゃん一家のかけがえのない日々。再刊。
47	おばあちゃんのきおく		メモ・フォックス／文	講談社	2007. 1 1	小さなウィルぼうやは、隣のホームにくらすお年寄りの人たちと仲良し。ある日、大好きなナンシーおばあちゃんの「記憶」が見つからなくなってしまったと知ります。ウィルぼうやが大切な「記憶」を探すためにしたこととは…。
48	おばあちゃんのはこぶね		M. B. ゴフスタイン／作・絵	すえもりブックス	1996. 1 1	おばあちゃんは、子供の頃お父さんが作ってくれたノアの方舟と人形を今でも大切にしています。方舟には大切な思い出がいっぱい詰まっていて、いつも心をあたためてくれるのです。老人も昔は子供だったことをユーモラスに伝える。
49	おばあちゃんは木になった		大西 暢夫／写真・文	ポプラ社	2002. 5	ダムに沈む予定で、地図から消えてしまった、岐阜県の徳山村。その村を愛し、住み続けるジジババたちと美しい自然の写真絵本。村を追い続けているカメラマンの出会いの記録。
50	おやすみなさいフランス		ラッセル・ホーバン／ぶん	福音館書店	1979	
51	がいこつ		谷川 俊太郎／詩	教育画劇	2005. 1 0	ぼくはしんだらがいこつになりたい。がいこつになってようこちゃんとあそびたい。誰かをほんとに好きになったら、怖いものはなにもない。詩情あふれるあたたかな、恋の絵本。
52	貝の子ブチキュー		茨木 のり子／作	福音館書店	2006. 6	プチキューは、ちいさなちいさな貝の子どもでした。いつもひとりぼっち、さみしくなるとエンエンエンと泣きます…。きらめく宝石のような物語と絵画のハーモニー。詩人・茨木のり子が残した唯一の絵本。

No	書名	副書名	著者名	出版者	出版年	内容紹介
53	かえるくんととりのうた		マックス・ベルジュイス ／文と絵	セーラー出版	1991. 4	
54	風さん		ジビュレ・フォン・オル ファース／作	平凡社	2003. 9	くるくる元気な風の精と男の子が池のほとりで出会います。野をかけ、木に登り、落ち葉を舞い上げ遊ぶうちに生き生きと変化する子どもの姿を、美しい自然と共に描いた古典絵本の決定版。
55	悲しい本		マイケル・ローゼン／作	あかね書房	2004. 1 2	誰にも、なにも話したくないときもある。誰にも。…私の悲しみだから。ほかの誰のものでもないのだから。愛する息子の死がもたらした悲しみを、徹底して見つめる中から浮かびあがる、命あるものへの慈しみと、深い慰めを描く。
56	カボチャありがとう		木葉井 悦子／作	架空社	1994. 8	カボチャが歩いていると、かたつむりに会いました。かたつむりは「カボチャが食べたーい」と言ったので、カボチャは「食べていいよ」と答え、かたつむりをからだに乗せてやりました…。独特で力強い絵柄の絵本。*
57	かまきりっこ		近藤 薫美子／著	アリス館	1996. 4	
58	雷の落ちない村		三橋 節子／作	小学館	2008. 7	むかしむかし琵琶湖のほとりに、くさまおという少年がいた。彼の村には、雷がよく落ちる。そこでくさまおは、雷の落ちない平和な村にしようと、一計を案じて…。若くして逝った作者が、心をこめて描き残した愛と勇気の絵本。
59	彼の手は語りつぐ		パトリシア・ボラッコ/ 文と絵	あすなる書房	2001. 5	文字を読める黒人ピンクス。そして文字を読めない白人シェルダン。南北戦争を舞台に、そんな二人の少年の出会いと友情、そして別れを描いた、本当にあった物語。
60	きこえてくるよ	いのちのおと	ひろかわ さえこ／著	アリス館	2005. 7	めをとじて そつといきはく ころのなかに みちてくるうみ きこえてくるよ みずのそこで すながながれる あわがはじける ひかりがゆれる きこえてくるよ ころのなかに みちてくるおと…。音を感じる絵本。
61	岸辺のふたり	Father and daughter	マイケル・デュドク・ ドウ・ヴィット／作	くもん出版	2003. 3	あなたの大切な人は、いま、どこにいますか？ 別れからはじまる小さなものがたり…。人が人を想うことの尊さを描く絵本。2001年米国アカデミー賞短編アニメーション受賞作品をもとに絵本化。
62	木のうた		イエラ・マリ／さく	ほるぷ出版	1977. 1 2	
63	きみがしらないひみつの三人		ヘルメ・ハイネ／作・絵	徳間書店	2004. 3	きみが生まれた日、三人のともだちがやってきて、きみのからだのなかではたらきはじめた…。人が生まれ、死んでいくまでの頭と心と体のふしぎなはたらきをやさしく詩的に描く絵本。
64	きみにあえてよかった		エリザベス・デール／ぶ ん	評論社	1997. 9	ベンが一番の友達だった犬のスクランピイが病気で死んだ。スクランピイを思い出すたびに、ベンの心は痛んだ。悲しみを乗り越えて、愛する者と過ごせた幸せに気づく、少年の心の成長をあたたく描いた絵本。
65	きみのかわりはどこにもいない		メロディー・カールソン ／ぶん		2000. 1 0	ゆうぐれが山のむこうをそめ始め、羊飼いは100匹の羊たちを連れて家へ帰った。でも大変。いっぴきいない、ワンダーがいらないぞ！ 羊飼いは月あかりの中飛び出した。新約聖書「マタイの福音書」に題材を取った絵本。

No	書名	副書名	著者名	出版者	出版年	内容紹介
66	きゅうきゅうばこ	かがくのとも版	山田 真／ぶん	福音館書店	1992	
67	きりのなかのはりねずみ		ノルシュテイン／作	福音館書店	2000. 10	こぐまの家に行く途中、はりねずみは霧の中に白い馬を見つけました。おもいきって霧の中に入っていくと…。霧の中でははりねずみが体験する、あこがれ、おどろき、おそれ、よろこびを描く、詩情あふれる絵本。
68	きんぎょのきんちゃん		おおの さとみ／ぶん	長崎出版	2009. 6	2人姉妹の家にやってきた2匹の金魚。2匹はとっても仲良しだったのに、1匹がてんぶく病にかかり、看病の甲斐もなく死んでしまい…。いのちの大切さや生きることのすばらしさを伝える絵本。
69	クイールはもうどう犬になった		こわせ たまみ／文	ひさかたチャイルド	1992. 4	
70	くじらの歌ごえ		ダイアン・シェルダン／作	ブックローン出版	1991. 6	
71	くずかごに頭を		いたざわ しじま／著	集英社インターナショナル	2008. 2	泣いてばかりいたママが笑った。ボクが、くずかごの中のまるめた紙をとろうと必死になっているときだった…。拾われた猫とママの絆を、猫の視点で描いた絵本。
72	くまとやまねこ		湯本 香樹実／ぶん	河出書房新社	2008. 4	突然、最愛の友だちのこたまりを亡くしてしまった、くま。暗く閉め切った部屋に閉じこもっていたが、ある日やまねここと出会った。やまねこは、くまのためにバイオリンを弾いてくれて…。
73	ぐりとぐらとすみれちゃん		なかがわ りえこ／文	福音館書店	2003. 10	野ねずみのぐりとぐらのところにすみれちゃんが持ってきたのは、とびきり大きくてとっても固いかぼちゃ。すみれちゃんのお母さん秘伝のダイナミックな方法で見事に割ると、かぼちゃのお料理のはじまりです…。
74	けんぼうは1年生		岸 武雄／作	ポプラ社	1981	
75	こいぬがうまれるよ		ジョアンナ・コール／文	福音館書店	2000. 12	
76	こいぬのうんち		クオン ジョンセン／文	平凡社	2000. 9	「ぼくは、なんの役にもたないのかなあ」ちっぽけで、なきむしの、こいぬのうんち。けれど、春がおとずれたそのとき…。目立たないもの、弱いものに対するやさしさがこめられた絵本。
77	こころのなかのおじいちゃん	絵本	モニカ ギーダール／作	アーニ出版	1999. 7	
78	こどものおいしゃさん		おおわだ きよし／絵・文	篠原出版新社	2005. 11	ぼくは、こどものおいしゃさん。みんながよくなると、うれしいな。UNL (Universal Networking Language) という先進的な翻訳システムを用い、仏・独・英・スペイン語の翻訳も併記した絵本。

No	書名	副書名	著者名	出版者	出版年	内容紹介
79	ことりをすきになった山		エリック＝カール／絵	偕成社	1987. 10	
80	さびしいくま		クレイ・カーミッシュル／作	BL出版	2004. 8	ある朝、くまが目覚めると、仲良しのクララがいませんでした。くまは、これまでクララとはぐれたことなどありませんでした。「クララァ！」くまは何度も呼びました。でも返事はありません…。心あたたまる、やさしい絵本。
81	さよならエルマおばあさん		大塚 敦子／写真・文	小学館	2000. 8	多発性骨髄腫の告知を受けたエルマおばあさんが自宅で静かに死を迎えるまでの一年間を、愛猫の目を通して綴る。アメリカのがん告知のあり方を含め、死に至るプロセスと死そのものを、カメラのレンズが克明に伝える写真絵本。
82	さよならチワオ		なりゆき わかこ／作	ポプラ社	2006. 5	チワオのチワオは、ぼくのお兄ちゃんで、ときどき弟で、そして大親友だ。そんなチワオも13歳のおじいちゃんになった…。老いていく犬のチワオを通して、介護のあり方、命の尊さを考える絵本。
83	死		谷川 俊太郎／文	大月書店	2009. 6	おじいちゃんが死んだ。でも、いなくなった気がしない。死ぬと、どうなっちゃうんだろう…。子どもたちに考える糸口を投げかけ、考えることの大切さを伝える絵本シリーズ。
84	ジェンダー・フリーってなあに？		草谷 桂子／文	大月書店	2003. 5	大好きな先生にあかちゃんが生まれました。みんなそれぞれがプレゼントを考えます。大切にしている物がそれぞれに違うように一人一人の個性を大切に育みあっていくことを、ジェンダー・フリーの視点で描きます。
85	鹿よおれの兄弟よ		神沢 利子／作	福音館書店	2004. 1	シベリアの森で生まれたおれは猟師だ。おれの着る服は鹿皮、おれの履く靴も鹿皮だ。力強い詩と、はっと思わせるような東洋的な細密画によって、シベリアの神秘的な森へと、どんどん引き込んでいく絵本。
86	「死」って、なに？	かんがえよう、命のたいせつさ	ローリー・クラスニー・ブラウン／作	文溪堂	1998. 10	死ぬってどういうこと？ どうして人は死ぬの？ だいすきな人が死んでしまったらどうすればいいの？ 死んだ人をいつまでも忘れないようにするには？ 皆さんの疑問・恐れにすてきなきょうりゅうファミリーがおこたえます。
87	死神さんとアヒルさん		ヴォルフ・エアルブルッフ／作・絵	草土文化	2008. 2	「死」はいつもわたしたちのそばにいます。けれど、わたしたちは気づかない。生きてると、なにが起こるかかわからない。死神さんとアヒルさんのやりとりを通して、子どもたちに死と、そして生を伝える絵本。
88	ずーっとずっとだいすきだよ		ハンス・ウィルヘルム／えとぶん	評論社	1988. 11	
89	スーホの白い馬	モンゴル民話	大塚 勇三／再話	福音館書店	1980	
90	スガンさんのヤギ		ドーデ／原作	西村書店	2006. 7	スガンさんの飼っている子ヤギはある日、自由を求めて牧場を飛び出した。山や谷を、大喜びでかけまわらな子ヤギ。しかし、恐ろしいオオカミに遭遇し…。生きるとはどういうことか、自由とは何かを語りかける絵本。
91	せかいいちうつくしいぼくの村		小林 豊／作・絵	ポプラ社	1995. 12	春、パグマンの村は花でいっぱいになります。夏、あみぐすくらんぼがたくさんなって、村人はみんなで採りに行きます。少年ヤモも果物をたくさん採って、町まで売りに行くことになりました。

No	書名	副書名	著者名	出版者	出版年	内容紹介
92	せかいいちゆうめいなねこフレッド		ポージー・シモンズ／さく	あすなる書房	2004. 2	フレッドが死んだ夜、はじめて明かされた信じられない事実。ぐーたらネコ・フレッドのもうひとつの顔とは？ 知られざるネコの世界を描いたユーモラスな絵本。
93	せかい一わるいかいじゅう		パット＝ハッチンス／さく	偕成社	1990. 8	
94	戦争で死んだ兵士のこと		小泉 吉宏／作	メディアファクトリー	2001. 1 2	今はのどかな森の中の湖のほとり、ひとりの兵士が死んでいる。1時間前、兵士は生きていて戦っていた…。誕生までの彼の人生をさかのぼり、生きているというあたりまえのことを思い出す。97年刊を加筆復刻。英文併記。
95	1000の風1000のチェロ		いせ ひでこ／作	偕成社	2000. 1 1	チェロの教室でぼくが会った、神戸から来た女の子。それぞれ物語を持つ人々が、音楽を通して心を重ねあわせていく、阪神淡路大震災復興支援チャリティー「1000人のチェロ・コンサート」を爽やかに描く。
96	千の風になって	絵本	新井 満／文	理論社	2004. 3	大切な人を亡くしたとき、悲しみをいやしてくれるのは…。今世界中の悲しみをいやしてくれる「死と再生の詩」はいったい誰が書いたのか？ 愛の永遠を高らかにうたいあげる究極のラブ・ストーリー。
97	千の風になって	ちひろの空	新井 満／日本語詩	講談社	2006. 8	大切な人を亡くしたとき…。悲しみをこえて生きる勇気を与えてくれる「いのちの詩」に、いわさきちひろの絵がつけました。頁をめくると、風は宇宙ではなく、すぐそばを吹いていることに気がつきます。
98	ぞうのさんすう		ヘルメ・ハイネ／さく	あすなる書房	2000. 7	ぞうは幸せでした。100年生きてみて、やっとゼロというものがわかりました。もう考えることはなにもありませんでした…。年を重ねるからこそ、分かることがある。人気絵本作家ヘルメ・ハイネの処女作。
99	ぞうのせなか		あきもと やすし／さく	講談社	2007. 1 0	いのちの終わりを悟ったぞうのお父さんは、幼い息子のポッポに、生きるためのさまざまな知恵と力を授けようとしています。しかし、ポッポは“死”を理解できなくて。受け継がれてゆくいのちの力強さをうたった絵本。
100	だいじょうぶだいじょうぶ		いとう ひろし／作・絵	講談社	1995. 1 0	大きくなるにつれて、こまったことやこわいことが、どんどんふえていくけれど、おじいちゃんのおまじないがあれば大丈夫。ほら、ぼくらのまわりは、こんなにも楽しいことであふれてる。*
101	だいじょうぶだよ、ゾウさん		ローレンス・ブルギニョン／作	文溪堂	2005. 1 1	年老いたゾウは、自分の死期を悟ります。最初は、それを受け入れられなかったおさないネズミですが、弱っていくゾウの世話をするうちに…。死にゆく者へ残された者は何ができるかを語る、心あたたまる絵本。
102	だいすきっていいたくて		カール・ノラック／ぶん	ほるぷ出版	1998. 1 1	「ママ、あのね」 ロラはすてきな言葉をママに言おうとしました。でも、ママはパタパタおおいそがし。「あとでね」 ロラは、すてきな言葉をあげるひとをさがしますが…。やさしいきもちを贈る絵本。
103	ダギーへの手紙	死と孤独、小児ガンに立ち向かった子どもへ	E・キューブラー・ロス／文	佼成出版社	1998. 6	「いのちって何。死ぬってどういうこと」 死と直面した少年に、博士は生きる勇気を与えました。愛に満ちあふれた心からのメッセージにあたたかく、やさしい色彩の絵。
104	だきしめてほしくて		カール・ノラック／ぶん	ほるぷ出版	2000. 4	きょうはロラがはじめておるすばんをする日です。パパとママがでかけてしまうと、だっこをしてくれるひとがだれもいなくなってしまう。そこでロラは「だっこのしま」をつくることをおもいつきますが…。

No	書名	副書名	著者名	出版者	出版年	内容紹介
105	旅の絵本		安野 光雅／著	福音館書店	1986	
106	たまご		ガブリエル・バンサン／作	ブックローン出版	1986. 10	
107	ちいさいタネ		エリック＝カール／さく	偕成社	1990. 12	
108	ちいさなくれよん		篠塚 かをり／作	金の星社	2003. 2	
109	チャーリー・ブラウンなぜなんだい？	ともだちがおもい病気になったとき	チャールズ・M・シュルツ／作	岩崎書店	1991. 10	
110	つきのよるに		いもと ようこ／作・絵	岩崎書店	2004. 9	つきのよるにぼくは生まれた。立ちあがってはたおれ、立ちあがってはたおれた。何回もたおれたけど、最後にぼくは立ちあがった。生まれてすぐに自分で立って歩きはじめる動物の赤ちゃん。いきる力を感じる絵本。
111	でもすきだよ、おばあちゃん		スー・ローソン／文	講談社	2006. 8	ぼくのおばあちゃんは、みんなのおばあちゃんとはちょっとちがう。でも、それでもいいんだー。痴呆症の祖母への少年の愛情が、少ない言葉から溢れる。高齢化社会の今の時代への贈り物と言ふべき絵本。
112	ともだち		谷川 俊太郎／文	玉川大学出版部	2002. 11	ともだちって かぜがうつっても へいきだって いてくれるひと。だれだって ひとりぼっちでは いきてゆけない。ともだちってすばらしいー。谷川俊太郎の詩と和田誠のイラストによる、心温まる絵本。
113	ともだちからともだちへ		アンソニー・フランス／さく	理論社	2003. 3	「ほんとうのともだち」ってなんだろう？ ため息ばかりのクマネズミにある日すてきな手紙が届いた。でも名前がかかれていない。そこで差出人を探しに行くことに…。
114	泣いてもいい？	M o r t a l を考える	グレン・リングトゥヴィズ／作	今人舎	2005. 7	「死神さん、どうしておばあちゃんを連れていつちゃうの？」大好きなおばあちゃんが連れて行かれないように、4人の子どもたちはいっしょうけんめいです…。子どものやさしい気持ちに寄りそって、生と死を考える絵本。
115	永い夜		ミシェル・レミュー／作	講談社	1999. 5	だれか、わたしを見ていてくれる？ 人生って最初から決められているもの？ さまざまな想いが駆けめぐる、眠れない夜のはじまり。’97年ポローニャ児童図書展フィクション青少年部門賞ほか数々の賞を受賞。(ソフトカバー)
116	なきすぎではいけない		内田 麟太郎／作	岩崎書店	2009. 5	泣いてもいい。でも、泣きすぎではいけない。私が好きなおまえは、笑っていたおまえだからー。だれもが経験する大切な人との「お別れの日」。見守り続けたいと願う祖父の孫への愛情を描いた、切なくて優しさあふれる絵本。
117	はくちょう		内田 麟太郎／文	講談社	2003. 7	傷ついた羽をひとりで癒す白鳥に、小さな池は想いを寄せました。白鳥が飛び立ったその時…。青い画面に、美しい白鳥と池の想いを描き出した、心に響く絵本。

No	書名	副書名	著者名	出版者	出版年	内容紹介
118	葉っぱのフレディ	いのちの旅	レオ・バスカーリア／作	童話屋	1998. 10	わたしたちはどこから来て、どこへ行くのだろう。生きるとは。死とは。人は生きていくかぎりこうした問いをつけています。葉っぱのフレディといっしょに人生を「考えて」みませんか？ 85年講談社刊「フレディ」の新訳。
119	はりねずみのピククル		山崎 陽子／文	女子パウロ会	1988. 10	
120	ハルばあちゃんの手		山中 恒／文	福音館書店	2005. 6	ハルは海辺の小さな村に生まれた。「おや、ほくろのあるいい手じゃ。きっとこの子は器用だし、幸せになるよ」とみんながいった…。暮しを育て、愛を育み、死を見おくるハルの手をとおして綴られる、静かな物語。
121	ピーターのいす		エズラ＝ジャック＝キーツ／作・画	偕成社	1984	
122	ぴかぴかぷつん		川端誠 作	B L出版	199711	
123	光となり風となって…		高木 たかし／作	文研出版	2005. 9	もしも わたしが死んだとしても かなしまないで かないで 地球のうえから 消えてはいない あたたくやさしい愛の詩に、心が癒され、生きる力がわいてくる絵本。
124	100万回生きたねこ		佐野 洋子    作 絵	講談社	1982	
125	びょうきのほん	1	山田 真／文	福音館書店	1989. 6	
126	びょうきのほん	2	山田 真／文	福音館書店	1989. 6	
127	びょうきのほん	3	山田 真／文	福音館書店	1989. 6	
128	ぶたばあちゃん		マーガレット・ワイルド／文	あすなる書房	1995. 9	ぶたばあちゃんと孫むすめは、ふたりが知っている、いちばんいいやり方で「さよなら」をいきました。生きることと愛すること、あたえることと受け取ること、ぶたばあちゃんの死を通して様々なことを教えてくれる絵本。*
129	ふるびたくま		クレイ・カーミッシュル／作	B L出版	1999. 8	ある日、クララのお気に入りのくまが、鏡に映る自分を悲しげに見つめていました。薄汚れた色、ほころび…。「おんぼろになったら、誰だって僕なんかいらなくなる」 愛されたい、必要とされたい、切ない想いがあふれる物語。
130	ぼくのいのち		細谷 亮太／作	岩崎書店	1999. 6	おばあちゃんのお蔵で見つけた、ぼくの小さな頃の写真。ぼくって、白血病だったんだー。著者が長年臨床の現場で成熟させてきた、生きる子、逝く子への思いが詰まった絵本。

No	書名	副書名	著者名	出版者	出版年	内容紹介
131	ぼくのおじさん		アーノルド・ローベル／作	文化出版局	1982.6	
132	ぼくはねこのバーニーがだいすきだった		ジュディス・ボースト／さく	偕成社	1979.4	
133	ぼくを探しに		シルヴァスタイン／作	講談社	1979.4	
134	ポポリン		きむら しょうへい／作	雷鳥社	2006.9	ポポリンは、星になったお母さんに会えるかもしれないという希望を胸に、たったひとりで、ウルミラ山に登ってゆきました。そこで起こった不思議な出来事とは…？ 豊かな色彩の絵がお話をやさしく包みます。
135	ぼんさいじいさま		木葉井 悦子／文・絵	ビリケン出版	2004.4	春のある朝、ぼんさいじいさまの前に現れたひらぎ少年。「じいさま、きょうのことは、ずっと前から決まっていた」猫や馬、ニワトリ、トノサマガエルなどに見送られ、じいさまは彼岸へ旅立ち…。84年偕成社刊の再刊。
136	ママがいっちゃった…		ルネ・ギシュー／文	あすなる書房	2004.4	ママがいない…。ママは、ハチミツを探しにいったのでもなければ、パパをむかえにいったわけでもない。もう、どこにもいない…。切なくて、でもあたたかいフランスの絵本。
137	マリオネット		ガブリエル・バンサン／作	ブックローン出版	1993.6	
138	みんなあかちゃんだった		鈴木 まもる／作	小峰書店	2000.5	大人になって、どんなに偉そうにしていたって、昔はみーんな子ども。子どものまえは…みんな、赤ちゃんさ！ 生まれてすぐから3歳になるまでの子どもの行動を、ピュアなまなざしで描く。
139	みんなうたってる		杉田 豊／絵と文	至光社	1989	
140	みんなぜんぶいろんな		中川 ひろたか／文		2004.4	これは鳥 これは草 これは虫 これは木 いろんないのち ぜんぶいのち みんないのち。かけがえのない命を考える写真絵本。
141	モモ	My dear dog	おーなり 由子／著	新潮社	1997.6	
142	よだかの星		宮沢 賢治／作	講談社	1986.11	
143	よるくま		酒井 駒子／作・絵	偕成社	1999.10	うんと夜中にやってきたくまの子、よるくまと、くまのお母さんを探しに行った男の子。あちこち探したけど見つからない、くまのお家も行ってみたけどお母さんはいない。ついよるくまが泣き出しちゃった、その時、流れ星が…！

No	書名	副書名	著者名	出版者	出版年	内容紹介
144	よるのようちえん		谷川 俊太郎／ぶん	福音館書店	1998. 5	夜の幼稚園にはだれもいません。みんなうちへ帰りました。どこからか、夢の子どもが現れて、夜の幼稚園で遊びはじめます。そっとさん、すっとさん、ぬっとさん、ぼっとさん、ぼっとさん…さてみんなで何人いるでしょう？
145	喜びの泉	ターシャ・テューダー と言葉の花束	ターシャ・テューダー／ 著	メディアファクトリー	1999. 1 1	喜びをつかみなさいー。シェークスピア、ワーズワース、エマーソン、ソローなど、作家や詩人の言葉に、絵本作家ターシャ・テューダーの美しい絵を組み合わせた絵本。
146	喜びの泉	ターシャ・テューダー と言葉の花束	ターシャ・テューダー／ 著	メディアファクトリー	1999. 1 1	喜びをつかみなさいー。シェークスピア、ワーズワース、エマーソン、ソローなど、作家や詩人の言葉に、絵本作家ターシャ・テューダーの美しい絵を組み合わせた絵本。
147	ラヴ・ユー・フォーエバー		ロバート・マンチ／作	岩崎書店	1997. 9	
148	龍になった鯉のぼり		岡坂 拓造／作	ゆみる出版	2007. 3	夢の里小学校の13人の子どもたちは、自分たちの夢や願いを託して、大きな鯉のぼりを作りました。「りゅう」と名づけられたその鯉のぼりは、ある日、空に向かって力強く泳ぎはじめて…。
149	レアの星	友だちの死	パトリック・ジルソン／ 文	くもん出版	2003. 9	レアはがんという病気にかかり、入院することになりました。友だちのロビンは、毎日おみまいに行きます。けれども、やがてふたりに別れのときがおとずれます…。レアとロビンの友情をとおして命を静かに見つめる絵本。
150	わすれられないおくりもの		スーザン・バーレイ／さ く え	評論社	1986. 1 0	
151	わたしのきもちをきいて	家出	ガブリエル・バンサン／ 作	BL出版	1998. 2	少女は家出して森へ行く。森は深くさびしく、「わたし」は困りはて、背いた家が恋しくなり、反抗したママを心に呼ぶが…。多感な少女の心の軌跡を繊細に描いた、「わたし」のモノローグ。
152	わたしのきもちをきいて	手紙	ガブリエル・バンサン／ 作	BL出版	1998. 2	少女はきもちのすべてを手紙に書いて、ママとパパにつたえようとする。古いお屋敷の荒れた庭に入りこんで手紙を書くうちに、「わたし」の心は少しずつほぐれて…。傷つきやすい少女の心の動きを繊細に描く。
153	わたしの庭		今森 光彦／写真・文	クレヨンハウス	2005. 8	四季折々の草花が、虫が、見渡す景色のすべてが「わたしの庭」。里山を撮り続ける写真家・今森光彦の写真絵本。胸いっぱい深呼吸を。『月刊クーヨン』01年4月号～05年3月号連載「里山のエビキュリアン」を修正・編集。
154	わたしのメリーゴーランド		ブライアン・ワイルドス ミス／作・絵	太平社	1989. 5	
155	リトル・ブッダ		葉 祥明／絵・文	佼成出版社	1996. 4	